

令和3年9月吉日

全真言宗青年連盟各会派事務局御中  
全真言宗青年連盟会員各位

全真言宗青年連盟  
理事長 武田静典

### 全真言宗青年連盟広報フォーラムのご案内

謹啓 初秋の候 諸大徳各位におかれましては益々ご清栄の段、お慶び申し上げます。

平素より全真言宗青年連盟の活動に対し、格別なるご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度全真言宗青年連盟では下記の要領にて、広報フォーラムを開催する運びとなりました。この度のフォーラムは現地参加と、Zoom アプリを使用したオンライン参加の2種類の参加方法の併用という新しい試みとなります。皆様方にはご不便をお掛けすることが多々あるかと存じますが、どうぞご参加賜りますようお願い申し上げます。

合掌

#### 記

- ◇事業名 全真言宗青年連盟 広報フォーラム  
～新しい時代に、確かな法を伝えていくために～
- ◇日時 令和3年11月30日(火) 13:00～16:30
- ◇開催方法 現地参加と Zoom を使用したオンラインの併用  
※コロナ禍の状況で、オンラインのみに開催方法を変更する可能性があります。  
※オンライン参加者には開催日4日前にメールにて Zoom のミーティング ID、パスコード、URL をお送りします。
- ◇場所 京都 JA ビル (京都市南区東九条西山王町1)
- ◇対象 全真言宗青年連盟会員 (寺族可)
- ◇定員 100名
- ◇参加費 2,000円  
※参加申込者に郵便振替用紙をご発送いたしますので、郵便局より参加費の納入をお願いいたします。なお、納入いただきました参加費の返還には応じ兼ねますので、予めご了承くださいませようお願い申し上げます。
- ◇衣 体 改良服、スーツ、作務衣(輪袈裟・折五条着用)

## ◇目 的

時代の変化によって家庭環境や家族の在り方が変わっていく中で、昨年端を発したコロナ禍により、更に私達の生活は一変してしまった。葬儀や法事などの仏事は縮小傾向にあり、檀信徒との結びつきも、より一層希薄となってしまう可能性も考えられる。仏教界全体が斜陽傾向にあるこのような時だからこそ、この先の時代を見据え、如何に法を説いていくべきか、寺院を魅力あるものと出来るかを、皆様と共に考える場としたい。

## ◇タイムスケジュール

12:00	現地受付開始 Zoom 入室開始	14:15~15:00	講演② (休憩 15分)
13:00~13:15	開会式	15:15~15:55	鼎談
13:15~14:00 (休憩 15分)	講演①	(休憩 5分)	
		16:00~16:30	閉会式

## ◇講演内容

- ・講演① 講題【法話、口説布教の重要性について】 講師：渡邊恭章僧正  
(真言宗泉涌寺派教学部長／種智院大学講師／真言宗泉涌寺派戒光寺住職)

渡邊師は泉涌寺派教学部長であられ、全真言宗布教連盟青年教師布教研修会では長く審査員をお務めになり、さらに種智院大学でも法話についての授業を担当されており、法話、口説のスペシャリストです。僧侶が檀信徒に物事を伝える際の、最も基本的な方法である法話、口説について、心構えや意義、さらに実際に法話をする際の注意点等、当フォーラムの基調講演として、言葉によって教えを伝えることの重要性について講演いただきます。

- ・講演② 講題【いかにして「カエル寺」として寺院作りをしたのか】  
講師：原口元秀僧正 (真言宗御室派如意輪寺住職)

福岡県小郡市にある如意輪寺、現在はカエル寺として大変有名であり国内外からの参拝者は年間30万人を超えるが、かつては参拝者も少なく、生活も大変な寺院であったといえます。しかし、原口師は中国でカエルの像を購入されたことをきっかけに、カエル寺として魅力あるお寺作りをなされ、さらに地域の菓子店とのコラボレーションや、夏の風鈴まつり、また近隣寺院の魅力をプロデュースされるなど、寺院の新しい魅力を創出し続けておられる方です。具体的にどのようにお寺作りを進めていかれたかをお話いただくことは、私たちが今後の寺院作りを考えていく上で、多くの示唆を与えてくれるに違いありません。

・鼎談 講題【先輩僧侶に問う、これからの寺院、僧侶の在り方】

登壇者①：渡邊恭章僧正

登壇者②：原口元秀僧正

コーディネーター：喜多村龍介僧正

(六大新報社代表／真言宗大覚寺派大悲王院住職)

喜多村師は大覚寺派寺院の住職を務めながら、宗門誌である六大新報社で長年記者として働き、現在は代表を務めておられます。まず自己紹介、六大新報や文章伝道について等、自身の活動についてお話いただいた後に、二師にご登壇いただき鼎談となります。

コロナ禍を経た、これからの寺院、僧侶の在り方について、三師それぞれの立場からご発言、ご提案をいただき、参加者と共に議論いただきます。

◇申込方法 QRコードを読み取っていただき、申込フォームにアクセスし、必要事項にご記入の上、令和3年11月16日(火)までにお申込下さい。



◇注意事項 ※必ずお読みください。

【現地参加者】

- ・会場入口にて、手指消毒をお願いいたします。
- ・必ずマスクの着用をお願いいたします。
- ・参加者同士のソーシャルディスタンスを保ってください。
- ・熱のある方、体調不良の方は参加をお控えください。

【オンライン参加者】

- ・画像の録画や画面のキャプチャーなどの撮影はお控えください。
- ・講義中はカメラ画面を必ずONにしてください。(来客等の場合は除く)  
(カメラのついていない機器をご使用の方でも音声のみでご参加頂けます)
- ・講義中、発言者以外の方は、マイクをミュート(消音)にしてください。
- ・質疑応答等で発言される際は「チャット」にご記入をお願いいたします。  
事務局スタッフが代理でご発言いたします。
- ・Zoomの氏名欄には、氏名、会派名を入力してください。

《お問い合わせ》 広報委員長 喜多村龍秀

携帯：090-2317-2644 メール：ryushu180@gmail.com

以上